



# ドライバーと配車係のどちらも経験 培ってきた人間力で、未来を担う人材を育成



もりみつひろ 森 光広

事業部 部長 [2018年入社]

大学卒業後、大阪の運送会社に営業職で入社。その後、別の会社でドライバーや配車係を経験し、2018年に岩崎産業に入社。引き続き2年ほど配車係のスキルを磨き、現在は事業部部長として若手社員の育成も担う。小学校から野球を続け、今も早朝野球で活躍、ポジションはピッチャー。

## 学生のみなさんへのメッセージ

最近の若い方たちはLINEやメールに頼り、コロナ禍もあって、人と直接会って話を聞く機会が減っているように思います。人生の先輩の話に耳を傾けることは、今度は自分が人に話す内容に深みを持たせてくれます。その積み重ねが自分の糧となり、人間力を養うことになるのです。言葉が重要なコミュニケーションツールである以上、言葉選びや話し方、話す内容は、そのままその人の人間力を評価する材料となります。年齢を重ねて部下を持ったとき、薄っぺらなことしか言えないと人はついてきてくれません。人間力は、難しい問題から逃げずに挑む力にもなります。問題を克服することで、さらに自分に力がつく。人生はその繰り返しなのだと思います。

## 岩崎産業株式会社

【優良企業ガイド 2023】TSR 企業コード:500070814

所在地：〒498-0823 三重県桑名郡木曾岬町大字和富8番地5

TEL：0567-68-2935

URL：http://www.iwasakisangyou.co.jp/company.html/ 従業員数：143名(男性120名、女性23名)

設立：昭和53年7月

売上高：18.4億円(令和3年8月期)

## ▶ 仕事内容について

当社は建設現場で使う鉄板や鋼材を主に運ぶ運輸部門と、それらの保管業務などを行う倉庫部門を中心に事業を展開しています。私は事業部の部長として両部門全体を管理。もともと他社で配車業務に携わりスキルを磨いてきたこともあり、当社の将来を担う配車管理者の育成も大切な仕事です。安全に運行するためには車両の確実な点検はもちろん、ドライバーと配車係が良好にコミュニケーションを図れているか、目を行き届かせなければいけません。業務の問題点を洗い出し、どう改善につなげるか。そして売上をいかに伸ばしていくか。管理者として業務の幅は広がります。

## ▶ 仕事で大変なこと

人を育てる立場となっても、今でも配車業務の大変さを痛感する毎日です。配車係1人につきドライバー25名ほどの運行スケジュールを管理してもらいますが、その組み次第でドライバーにかかる負担も変わってきます。例えるなら25種類のパズルを前に、それぞれたくさんあるピースをきれいに並べていくような作業。ピースが揃っていないと、効率の悪い走り方がドライバーにも分かり、不満のタネとなってしまいます。しかし常に私が助けてしまうようでは、部下の独り立ちにつながりません。ミッションは何かをまず考えさせ、パズルのヒントを少しずつ与えながら自分で結論を見つけられるよう指導しています。



社内は自由闊達で明るく、何でも相談しやすい雰囲気。大きな魅力。問題を一人で抱え込まないよう、気軽に声を掛けてくれる仲間たちばかりだ。

## 岡村 俊恵

管理部 営業事務課 [2020年入社]



## なりたい自分に近づいています!

知人から「いい会社があるよ」と勧められて当社に転職しました。前職はアパレル関係の販売員。運送会社で働くのは初めてでしたが、上司や先輩方から丁寧に指導をいただき、仕事を早く覚えることができました。今後はさらに多くのことにチャレンジして、どんどん知識を吸収していきたいと思っています。新しく入社した後輩にも仕事を教えていけるようになりたいですね。毎日の仕事に一生懸命になれる会社。なりたい自分に近づいていると実感できます。

## ▶ 仕事でやりがいを感じる時

部下が大きな仕事をやり遂げ、その笑顔を見たときですね。何百トン、何千トンもの数量を運ぶオーダーには、トレーラーもかなりの台数になります。こういった大型案件を自分の力で解決できれば、その後の自信につながるはず。こういうチャンスを自分のものにしてもらえよう、私自身が普段から気をつけているのが、判断のスピードです。部下に尋ねられたことにスピード感を持って答えられなければ、チャンスを逃してしまいます。上司に頼りなさも感じてしまうことでしょうか。いざという時、私が責任を持つ姿勢が伝わらないと部下も思い切った仕事ができず、成長が妨げられてしまうのです。

## ▶ 志望動機とこの会社に決めた理由

大学を卒業してからずっと運送業界で働き、ドライバーと配車管理のどちらの業務も経験。培ったスキルを活かして新たな自分を発見しようと転職先を探していたところ、当社の岩崎社長とお話をする機会をいただきました。配車係とドライバーの意識のズレから生まれるすれ違いなど、この業界が抱える課題、その解決に向けての思いを熱く語る姿に魅せられ、年齢も同じということもあって意気投合。「一緒にやろう!」の言葉に、初対面にもかかわらず即答でお世話になる返事をしている自分がありました。